

平成21(2009)年11月14日第27号

学校だより

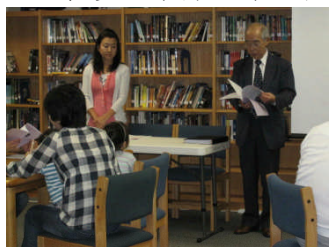
ヒューストン日本語補習校
 Japanese Educational Institute of Houston
 12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077
 Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)
 Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)
 E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

来年度、新入園・新入学説明会

11月7日(土) 幼稚園部、小学部への新入園・新入学の説明会を開催しました。

参加家庭数は、幼稚園部は22家庭、小学部新1年生は24家庭でした。ご両親での参加もありました。

午前9時からの小学部新1年生保護者への説明会を開催し、最初に私(校長)からあいさつを兼ね、小学生を持つ保護者・家庭としての願いを話しました。次いで、現小学部1年B組担任のリッテンマイヤー先生から学習内容や宿題、保護者として留意していただきたいことなどを細かに説明しました。



午後2時からの幼稚園部の説明会でも、最初に私(校長)からあいさつを兼ね幼稚園での生活概略を話しました。次いで、幼稚園部の山田先生から細かい説明がありました。「学びたい学校」「学ばせたい学校」「学んでよかった学校」創造についても若干話しました。

子どもたちとの面談は来年、1月30日に予定しています。楽しみにしています。

日本語補習校長研究協議会

11月8日(月)から9日(火)の2日間、デトロイトで開催された標記研究協議会に参加しました。この会へは全世界の日本語補習校から参加していました。各補習校の持つ特殊性や直面している諸課題について真剣な協議が行われました。詳しい内容は紙幅の関係から省略しますが、概要は下記の通りです。

[開会式]

[記念講演] 講師：野尻知里氏(テルモハート社取締役会長兼CEO・人工心臓の権威者)

[演題]「夢が人を育てる」

[講話]①外務省 ②文部科学省 ③海外子女教育振興財団 ④全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会(以上、日本から来られました。)

[研究協議]・発表、協議、助言等

[講演]文科省国際交流ディレクター「演題：補習授業校の現状と課題」

[講評]上記日本からの方々。(主な内容は後日記載)

……心情を育む学習から……

現在、2年生の国語の単元名『お手紙』を学習しています。その『お手紙』を学習した感想文を紹介します。

『お手紙』

小2B 三輪直暉(樽谷学級)

がまくんは、一回もお手紙をもらったことがないのでびっくりしたし、かわいそうだった。ぼくは、日本で年がじょうをもらったときは、うれしかったけれど、アメリカにきてからは、お手紙をもらおうとちょっと日本に帰りたいくなって、ちょっとさびしくなります。

『お手紙』

小2B 藤本莉乃(樽谷学級)

わたしはお手紙を書いたり、もらうのは大好きです。お手紙は人とか友だち、家ぞくに言いたいことをつたえてくれます。遠くにいる友だちにも気もちをつたえられることもあります。

おはなしのなかで、びっくりしたことは、かたつむりくんがお手紙をまつのに、4日またないといけなかったことです。



かえるくんが『親あいなるがまかえるくん。』で、お手紙に言ったとき、かえるくんとがまかえるくんはほんとうに親友だったと思いました。

『お手紙』

小2B 塩田聖奈(樽谷学級)

お手紙をもらったことのないがまがえるが、お手紙がほしいと言うから、かえるがこっそりお手紙をだすお話です。



わたしは、日本からいっぱいお手紙をもらいます。いつも、ポストにつくとわくわくします。なぜなら、お手紙になにかかいてあるか、ドキドキするからです。

がまくんも、そんなきもちでお手紙をまっていたと思いました。お手紙を出したかえるくんもやさしいと思いました。だけど、なぜかたつむりにわたしたのでしょうか？おそいのに。

高等部でキャリアの授業をしました・続

第Ⅲステージ

自己啓発(自分を切り開く)の内容

- 1 現状改善への努力
 - ① 苦手教科の克服
 - ② 得意科目の伸長
 - ③ 啓発的経験の意欲と実践
 - ④ 読書
 - ⑤ 豊かな情操の育成
 - ⑥ 情報探索
- 2 定期的な自己理解
 - ① 保護者、教師との進路会話・相談での自己点検
 - ② 得意科目の伸長度と不得意科目の征服度確認
 - ③ 進路選択へのルートの明確化と促進度の確認
 - ④ 自己実現のための不足領域についての理解
 - ⑤ 進路適性への吟味
- 3 新たなる自己啓発
 - ① 新たなる自己実現への努力と経験
 - ② 新たなる自己の発見
 - ③ より具体的な進路選択・アプローチの確認



第Ⅳステージ

自己実現へのアプローチ

- 1 上級学校等(高校・大学、転入も含む)の選択
 - ① 合格できる学校選択から学びたい学部・学科の選択へ
 - ② 上級学校入学は目的でなく、通過ポイント
 - ③ どの学校を卒業したかではなく、そこで何を学び、何ができるのか
 - ④ 上級学校は将来を保証するものではない
- 2 就業スタイル
 - ① 産業別・職業別
 - ② 会社選択か業種選択か
 - ③ 人相手・物相手・研究開発
- 3 より深い自己理解と自己アピール
 - ① 長所10箇条……長所伸長主義、自己肯定感
 - ② 将来への意欲と明確な努力項目
 - ③ 達成感と幸福感、使命感等

第Ⅴステージ

- 1 職業選択……個性・適性×経済性×社会性=選択
 - ① 職務達成能力の伸長
 - ② 常なる自己教育の継続……資質能力の伸長
- 2 家庭生活
 - ① 結婚・子ども・家庭教育……新婚期
 - ② 子どもの社会への排出期……充実期
 - ③ 社会活動・ボランティア活動
 - ③ 向老期……退職期、孤独期

備考：授業では第Ⅴステージの話はできませんでした。
素晴らしい人生への歩みは、常に現在にある。

個別面談～保護者からの意見・質問など～⑤

⑩現地校ではペナルティ(罰則)があるので、おとなしくしている。補習校でも、そのように厳しい罰則をつかってほしい。

[校長]平成21年度、学校要覧「児童生徒の心得」(7p)には、「1. 授業中の注意」「2. 校舎使用上の注意」「3. 学校生活全般における注意」が記載されています。以上の内容は「心得」として示し、全校の園児・児童生徒に守ってほしいし、また、守るべき内容となっています。しかし、8p 下段には、《懲戒》の項目があり、心得に反した人への懲戒処分は「訓告、謹慎、停学、退学」となっています。但し、違反行為をした子どもに対して、一発で上記の処分をするものではなく、処分に至るまでの指導がなされることは当然です。

例えば、担任から子どもへの口頭注意、学部主任乃至は校長からの口頭訓告、保護者立ち会いでの注意…と段階を踏むことになります。ペナルティがあるから悪いことをしてはいけない、と言う生活態度でなく、より良い学級集団・学校創造を目指して明るく楽しく、思いやりに満ちた学習生活を実践してほしいものです。

ただ、私が思うには、基本的な躰けや作法の習得、体得のステージは各家庭にあると思いますので、今後とも生きる上での価値観も含めて、家庭教育の充実に努めていただけたら幸いです。特に、在外の場合には、「家庭は第二の学校」とも称されます。ともに頑張りましょうね。

◆パトロール当番予定表11月21日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小3	1	法正 元
		2	小倉悠史
		3	田所紘貴
		4	矢ヶ崎彩恵
		5	17 永田玲央名
		6	太田臨緒
		7	西村理沙
★PM1リーダー	小3	8	奥原咲月
		9	吉川 黎
		10	小作諒太
		11	前田ありさ
		13	リンズィー杏奈
		14	荻島健人
		15	尾崎大智



朝晩がめっきり寒くなり、気温の日較差が大きくなってきました。健康管理に十分にご留意ください。

「早寝・早起き・朝ご飯」が大切です。